

令和5年度 第1回 八百津町地域公共交通協議会(会議要旨)

日時	令和5年8月23日(水) 午後2時00分～午後3時40分			
場所	八百津町役場 防災センター2階			
委員	■永井泰孝	■三輪俊雄	■木村治史	■加藤良治
■出席	■林 勝治	■岩島章雄	□後藤一夫	■臼田篤志
□欠席	■渥美 宏	■小倉保二	■青木誠司	■明慶幸司 (代理:福川湧也)
	■松原由幸	■城戸脇研一 (代理:野田なつみ)	■倉内文孝	□石井弘光
	■瀬瀬秀行	■金子政則	■社本勝義	
内容	<p>1. あいさつ</p> <p>2. 八百津町地域公共交通の現状</p> <p>3. 報告 (報告第1号) 自主運行バス再編後の利用者等推移について (報告第2号) 八百津町地域公共交通網形成計画の進捗状況について (報告第3号) 洞地区でのシャトルバス試験運行の開始について (報告第4号) やおまる東部の区域外主要施設への乗り入れについて</p> <p>4. 議事 (議事第1号) 八百津町地域公共交通網形成計画の計画期間延長について</p> <p>5. その他</p>			
主な質疑応答 事務局	<p>3. 報告事項 (報告第1号) 自主運行バス再編後の利用者等推移について</p> <p> 《 質疑無し 》</p>			
委員	<p>(報告第2号) 八百津町地域公共交通網形成計画の進捗状況について 新型コロナウイルス感染症の影響で過去2年間は協議会が書面開催となったが、この評価は計画ができてから初めての評価でよいか。今後は社会情勢の変化等適切に把握しPDCAサイクルを回し、引き続き計画の進捗状況を把握していくと良い。</p>			
委員	<p>資料 事業実施状況報告の実施状況が○×△で評価しているが、状況説明と評価が一致していない箇所があるため、修正したほうが良い。</p> <p>⑨運転手の確保であるが、人材確保や人材教育の実績はあるか。物流や旅客など運輸業界は、人材不足である。場合によっては、減便、深夜便の繰り上げ等に対応せざるを得ない状況がでてきているため、危機感を抱いている。この問題について会議の中で自治体と事業者、住民と一緒に考えていかないと、いまのレベルの公共交通の維持ができなくなり、不便になる。免許返納も公共交通ありきなため、ぜひ人材確保・育成の支援を考えていくべきである。</p>			

委員	検討する。
委員	計画の①-3で、可児駅、新可児駅の乗り入れを行っていないとのことだが、今後はやっていくのか。もしやっていく予定ならどのようにやっていくのか。
事務局	旧名鉄八百津線の廃線後に運行を開始した YAO バスが明智駅に接続している。可児駅や新可児駅に行くには名鉄広見線を利用する必要がある。名鉄広見線活性化協議会としての取り組みも鑑みながら、検討していきたい。
委員	<p>子どもの人数も減り、将来の働き手がいなくなることが懸念される。八百津町の子供たち、学生のための交通網を考えて欲しい。直接可児駅に行くことができれば、多治見や土岐に通学する選択肢も増えるため、子ども目線で見てできるだけ早く乗り入れの実現を目指して欲しい。</p> <p>次に、東鉄八百津線のダイヤを見ると、美濃加茂方面へ行く学生の通学時間帯とダイヤが合っていないのではないかと感じられる。町外から八百津高校へ通学する生徒向けのダイヤになっていると感ぜられる。自転車や親に送ってもらうなど通学方法は様々だが、通学経路に歩道はなく危険である。バス利用が可能ならば、雨や雪の日など親は安心して送り出せる。便数も重要であるが、学生が利用しやすいダイヤにした方が良い。また、歩道の整備も行って欲しい。</p>
事務局	八百津町内の高校生に目を向け、交通網を検討していく。
委員	<p>次に、③-2 バス待ち環境の改善の項目についてですが、“○”で駐輪場を整備したとあるが、実際に利用されているところを見たことがない。学生の利用が増えれば、バスの利用も増えるので利用に向けての取り組みをして欲しい。</p> <p>次に、⑬-2 スクールバス活用に向けた取組が“×”で未実施とあるが、今後はどのように活用していくのか。</p>
事務局	スクールバスの利用方法を教育委員会と協議したが、一般の方と子供の混乗は避けた方がいいという結論になり、公共交通とスクールバスを分けた。そのため未実施となっており、計画期間中に活用に向けた検討はしない。なお、計画が切り替わるタイミングで今後取り組むべきか再度検討する。
委員	次に、⑨-1 人材確保・育成・安全教育の実施だが、全産業で言われていることだが、八百津町では取り組んでいるか。現在の状況はどうか。足りておらず募集しているのか、足りていて募集していないのか。
事務局	八百津町として運行しておらず、各事業者に運行を委託している。八百津町は直

	接募集していない。デマンド東部であれば、不足していたら八百津町社会福祉協議会が募集している。
委員	各事業者にまかせっきりにするのではなく、八百津町も求人情報を HP に掲載してはどうか。
事務局	デマンド東部については、八百津町社会福祉協議会と連携しながらやっている。東鉄バス、新太田タクシーも人材が集まらず苦しいという話をきいている。今後も協力しながらやっていきたい。
委員	(報告第 3 号) 洞地区でのシャトルバス試験運行の開始について 利用する方への周知方法について聞きたい。
事務局	自治会の代表者と協議している。説明会開催の要望があるため、行う予定である。本日の協議会で議題として取り上げることもお伝えしている。
委員	試験運行とのことだが、状況をみながら本運行というのは実は難しい。 やおまる西部は既に寄り道し運行しているので、同様の運行方法も考えられる。 試験運行で利用者数が少なければ本運行しないという選択はあるのか。また同様の要望があれば他地区でもそのように対応してくのか。
事務局	やおまる西部は全 4 系統あるが、定時定路線と言っても単純な往復ではなく、1 台が多方面へ行くルートになっている。そのため、早く目的地に着かず利用者が少ないということも考えられる。今のやおまる西部の運行ルートに含めることは想定していない。ただ、試験運行にて実績を踏まえたうえで、運行方法の見直しは検討しなければならない。利用が少なければ減便や少ない方面は無しにし、逆に利用者が多ければ維持し、または、増便することは検討していく。
	(報告第 4 号) やおまる東部の区域外主要施設への乗り入れについて 《 質疑なし 》
委員	4. 議事 (議事第 1 号) 八百津町地域公共交通網形成計画の計画期間延長について まず全体の方針として、広域で考え、他の計画と整合性をとるために、2 年間延長というのは整合がとれて良いと思う。臨機応変にやっていただきたい。 最近の大きな流れは、町だけで公共交通を考えるのではなく、地域全体でどう連携し、どう移動手段を確保するかを、東鉄バスや YAO バスのデータも共有させていただき、議論をしていくべきである。

	<p>さらに計画の目玉の一つは、まちづくりとの連携である。町のHPを見させていただくと都市計画も同じようなタイミングで改定が入る予定なので、そこも意識しながら検討し、整合がとれる公共交通のしくみを作っていけるよう議論していただきたい。</p>
委員	<p>NPOやおつは発足から20年経過し、ある一定の役割は果たせたかと考えている。本来であれば理事長自ら発言する予定だったが、委託契約は3年ごとに更新しているが、3年後はおそらく更新しない。なぜなら、運転手はボランティアでやっている。当時60歳の定年退職した者が運転手として活動しているが、今ではその運転手も80歳になっている。実際に運転手は70歳代が中心で、なおかつ運転手の確保も難しい。</p> <p>デマンド交通が運行しているが、それにも乗れないという弱者がいるため、そういった方の移動手段についても今後検討してほしい。また、八百津地区・伊岐津志地区・和知地区についても東部3地域のようにとはいかないが、デマンド交通の運行を十二分に検討していただきたい。</p>
委員	<p>計画の延長について審議しているが、いまから2年間は計画だけなのか。</p>
事務局	<p>計画は精査しつつ実施する。</p>
委員	<p>PTAの代表として出席したが、任期があるため、次年度の会議に私はいない。このような機会なので意見を述べさせていただく。小中学校でバスの乗り方や時刻表の見方等をカリキュラムとして取り組んではどうか。知らないまま卒業すると進路の選択にも影響がでる。前年度の委員からは、このような計画や会議があることを引き継いでいないため、このような場があるなら、PTAとしても学校と協議しながらやっていきたい。</p>
事務局	<p>この3年間は新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった。公共交通とスクールバスの共用を見送ったのもその影響が大きい。</p> <p>保育園バスの降り忘れの問題も話題になり保育園バスには装置の設置が義務化された。町のスクールバスにも装置を設置し対応する。</p> <p>久田見小では岐阜市内のバスに乗り、乗り方を学習している。学習する内容についても精査している最中。このことについても検討課題としてあげていきたい。</p>
委員	<p>バス業界の現状についてもお知らせしたい。</p> <p>今月25日に貸し切り運賃が、平成26年以来改正される。新型コロナウイルス感染症のダメージ、燃料費高騰、運転手確保(待遇改善)によるものである。これが値上がると年間の委託契約の貸し切り料金の基礎となる部分が値上がる。修学旅行、遠足等の運賃も値上がることになる。お願いとなるが、諸般の事情にご理解いただきたい。</p>

委員	<p>5. その他</p> <p>報告第 4 号の補足となるが、区域外への乗り入れについて、バスやタクシー事業者と引き続き協議していくとのことだが、その他にも土曜日運行等サービスレベルが変わる際には事業者と協議をしてください。</p>
委員	<p>コロナ禍であったため、協議会が開けてなかった。これから計画をつくっていくこととなるが、年度ごとに計画の進捗がわかる資料を用意してほしい。どこまでやったか、やらないといけないか、皆さんで共有したいのでそういった資料が初めにあると良い。</p> <p>以上</p>